

温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標及び措置

計画期間		令和 5 年度 ~ 令和 7 年度			
温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項	年度	措置の内容			
	5	排脱工場 酸化用コンプレッサ更新による消費電力削減 硫酸L3工場 メインブロイター化による消費電力削減 CO2フリー電力の調達			
	6	銅熔錬 局排ファンインバータ化による消費電力削減 太陽光発電導入による買電電力削減 CO2フリー電力の調達			
	7	高効率機器への更新による消費電力削減 太陽光発電導入による買電電力削減 CO2フリー電力の調達			
温室効果ガスの吸収等	区 分			目標年度 (令和 7 年度) 二酸化炭素換算 (t)	
	<input type="checkbox"/> 森林の整備等			t-CO ₂	
	<input type="checkbox"/> 経済的手法の活用			t-CO ₂	
	グリーン電力証書の購入			t-CO ₂	
	グリーン熱証書の購入			t-CO ₂	
	オフセット・クレジットの購入			t-CO ₂	
	国内クレジットの購入			t-CO ₂	
	J-クレジットの購入			t-CO ₂	
	合 計			① t-CO ₂	
	温室効果ガスの排出の抑制等に関する目標	区 分	基準年度 (令和 4 年度)	目標年度 (令和 7 年度)	対基準年度比 (%)
温室効果ガス 排出量		(二酸化炭素換算(t))② 244,066 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t))③ 238,575 t-CO ₂	97.8	
<input type="checkbox"/> 差引排出量 A		(二酸化炭素換算(t))② 244,066 t-CO ₂	(二酸化炭素換算(t))③-① 238,575 t-CO ₂	97.8	
<input type="checkbox"/> 原単位排出量 A/B					
温室効果ガス排 出量と密接な関 係を持つ値 B					
目標設定に 関する説明	基準年度より、エネルギー起源CO2の3%削減 (省エネ法による削減目標) に、車両の使用およびエネルギー起源CO2以外の温室効果ガス排出量を加えて目標値とした。				
特記事項	森林保全活動として、社有地において1.0haの植栽を実施予定。				

(注)

- 「基準年度」は計画年度の初年度の前年度とし、「目標年度」は計画期間の最終年度とすること。
- 「温室効果ガスの吸収等」欄については、これらの措置を実施するときは該当する□にレ印を記入し、
- 「温室効果ガスの排出の抑制」欄については、削減目標を立てるに当たって指標とするものを「区分」の欄のいずれか選択し、該当する□にレ印を記入すること。この場合において、「原単位排出量A/B」
- 「目標設定に関する説明」欄には、目標年度における温室効果ガス排出量 (原単位排出量) を設定するにあたっての前提条件や、想定した削減策等、どのような考えに基づき温室効果ガスの排出量の抑
- 「特記事項」欄には、「温室効果ガスの排出の抑制等に関する事項」の実施する年度毎に記入したもののほかに、地球温暖化の防止のために取り組むこと等を記入すること。